

令和 6 年 度 学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト （ 県立皆野高等学校 ）

目 指 す 学 校 像	校訓（誠実・勤勉・協力・奉仕）の理念の下、 地域の活性化に寄与し、地域社会と産業を支える人材を育成する学校
-------------	--

重 点 目 標	1 主体的・対話的で深い学びを推進し、確かな学力を育成する。 2 地域の人材と資源を活用し、地域と連携した特色ある学びを推進する。 3 思いやりの気持ちの醸成やあいさつの励行を通し、健全な心身を育成する。 4 生徒の特性に応じた進路指導を推進し、地域で活躍する人材を輩出する。
---------	---

達 成 度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の 学校評価懇話会を開催し、学校自己評 価を踏まえて評価を受けた日とする。		
出席者	学校関係者	7 名
	生徒	3 名
	事務局(教職員)	6 名

学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム						
学 校 自 己 評 価 目 標				年 度 評 価 （ 2 月 1 日 現 在 ）		
年 度	目 標	年 度	目 標	年 度	目 標	年 度
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】生徒一人ひとりに寄り添った指導を実施している。また、商業高校としての強みを生かし、体験的な学びや商品開発、資格取得を奨励し、地域など外部との連携を進めている。 【課題】社会での活躍を見据え、生徒には社会生活の基本を備えることが必須である。そのために、○一人ひとりの基礎学力の定着を図るきめ細やかな学習指導○職員相互の授業研究や授業振り返り会など校内研修の継続○多様な検定試験挑戦の奨励と成功体験の機会の確保○地域等外部との更なる連携○I C T機器の積極的な活用を行う。	少人数学級を活かした授業はもとより、学習の動機付けを含めた授業の実施により基礎学力の定着と学力の向上を図ることができたか。	①授業研究週間で授業見学と事前事後の研究協議を実施（1・2学期） ②各種検定試験に向け意欲及び学力を向上させる指導（通年） ③多面的評価方法の工夫改善（通年） ④生徒による授業に係る自己評価の結果を活用した授業改善（通年） ⑤アクティブラーニングや、ICT機器を活用した授業の実施（通年） ⑥生徒の自立を促す高校通級の実施（通年）	①授業研究週間で、相互の授業見学研究協議で意見交換ができたか。 ②検定試験指導を計画的に実施し、合格者を輩出したか。 ③各教科で多面的・総合的に評価したか。 ④生徒アンケートを実施し、評価結果を分析し改善に努めたか。 ⑤AL型授業実施、ICT機器活用等により生徒が自主的に学習に取り組むことができたか。 ⑥教育支援プランに沿って計画的に指導できたか。	授業の工夫・改善により「積極的に取り組んでいる」との生徒回答が48.6％と、昨年より10ポイント上昇した。 ①2回実施、1回目は平均1.6回見学、2回目は1.8回見学。 ②生徒一人一人に合わせた適切な指導により1級等の合格者を輩出することができた。 ③生徒理解に基づいた指導を深めながら各教科で評価を行っている。 ④アンケートを実施・分析した。 ⑤Googleclassroom等を適宜授業で活用した。 ⑥計画に沿って指導できた。	A
2	【現状】生徒が本校で学ぶ価値や魅力を感じる教育活動を推進している。また、地域と連携をした行事等の取組を実施している。 【課題】学年減少による人員の減少により、外部人材の力を活かした学校運営、行事等の実践を推進する必要がある。○包括連携協定に基づき、町役場、商工会と引き続き情報共有を図り連携協力する。○小中学校と連携した取組により、生徒の活躍の場を設ける。○秩父圏域4高校の行事内容を工夫し、参加者数の増加を図る。○秩父定住自立圏事業の活動継続。	地域の人材と資源を活用した、商業高校ならではの唯一無二の教育活動の実施と発信を行うことができたか。	①地域と連携した商品開発による取組の継続、地域人材を活用した講演会等の実施（通年） ②学校運営協議会の実施（4回）と協議会での意見提言の活用（通年） ③皆野町・秩父地域、幼小中高大との連携活性化（通年） ④本校教育活動を地域へ直接周知・理解させる取組（通年） ⑤本校教育活動をHPやマスコミ等メディア活用による発信（通年） ⑥秩父定住自立圏との連携（通年） ⑦ボランティア活動の実施	①商品開発、販売実習等を生徒が地域に出かけて実施できたか。講演会等実施できたか。 ②学校運営協議会で活発な意見交換が行われ、提言を活用できたか。 ③地域の各機関との連携を活性化することができたか。 ④地域の協力を得て実施できたか。 ⑤HP更新回数やアクセス数、新聞等へ取り上げられる回数が増加したか。 ⑥秩父定住自立圏と連携できたか。 ⑦お守り配布等、地域行事へ参加することができたか。	地域連携を推進した。 ①新商品「しかコロぼん」の開発、販売実習。講演会実施。 ②年4回学校運営協議会を開催し、文化祭等で協力を得る。 ③異校種等と交流事業、地域人材の活用。公開講座18講座開講。 ④進路懇談会(6月)、PTA保護者懇談会(7月)、在り方生き方教育。皆高times町全戸回覧。 ⑤HP毎日更新(昨年比15%増、月最高アクセス38万件超)。皆高CS times(学校新聞)毎月発行・地域配布。報道等100回以上掲載。 ⑥中学生対象の進学相談会(7月)、見学会(1月)、説明会(2月)実施。ちちぶエデュ(8回)等。 ⑦交通安全運動で有料道路料金所でお守り配布(2回)、ミニ門松作製配布。SLで交通安全運動。	A
3	【現状】生徒が主体的に参加する学校行事の工夫や部活動、生徒会活動を奨励し、自立心を育成している。また基本的生活習慣の定着や挨拶の励行により社会性や規範意識を育成している。 【課題】コミュニケーション能力の育成を行う。具体的には○生徒の活躍の機会確保○職員の立哨指導による挨拶励行と整容指導の継続○SCや巡回支援員等外部専門家を活用した相談体制の継続維持○外部専門家による講演会等の実施。	少数でも活気のある学校行事や部活動等を実施することができたか。また、日常的に声掛けや整容指導等、きめ細やかな生徒指導を行うことができたか。	①遅刻指導の実施（通年） ②生徒による挨拶運動継続（通年） ③自転車使用に係る指導の実施（2回） ④土砂災害なども想定した総合防災訓練等安全教育の実施（4回） ⑤校内委員会を中心に、SC等関係機関や教職員・保護者との連携による教育相談の実施（通年） ⑥人権学習の実施・発表（1回） ⑦学校生活アンケートの実施（2回）	①遅刻回数（延べ）が減少したか。 ②挨拶運動が実施できたか。 ③自転車事故を防止できたか、講習会等での指導を実施したか。 ④消防署員の指導のもと、火災・地震・土砂災害等の訓練において、的確に判断・行動できたか。 ⑤SC等関係機関と連携して活用状況と生徒・保護者の満足度は高まったか。 ⑥人権学習を実施・発表できたか。 ⑦結果を分析し、改善に結びつけることができたか。	少人数を活かした学校行事や部活動を実施している。また、学年を中心とした情報共有に基づき、生徒指導を行った。 ①改善はみられているが、特定の生徒の遅刻・欠席はある。 ②挨拶励行と整容指導を実施 ③計画通り実施した。 ④年4回土砂災害訓練等総合防災訓練を実施した。 ⑤SC(29回)巡回支援員(6回)活用し、生徒・保護者と面談を実施した。 ⑥人権学習の実施・地区実践報告会で発表を行った。 ⑦今後教育活動に活かしていく。	A
4	【現状】地域貢献活動を継続し、郷土を愛し、皆野町をはじめ秩父圏域に定住し活躍する人材を育成している。 【課題】個々に応じた職業観の育成と地域で活躍する人材の育成が期待されている。○一人ひとりの進路希望を実現するための計画的系統的指導の継続○継続的な企業訪問により、学校との安定した信頼関係を維持○就職支援員等を積極的に活用○PTA後援会の協力による面接指導等の継続○「進路の手引」の見直しと有効活用の徹底。	3年間を見通した系統的・組織的な進路指導を実践し、希望進路の実現を行うことができたか。	①「進路の手引」改善（4月）と活用（通年） ②系統的進路ガイダンスや進路指導の実施（通年） ③秩父地域雇用対策協議会と連携しインターンシップ実施（2年生）、企業見学会への参加（3年生） ④進路決定に向けた面接練習（試験前）、就職後の働き方指導の実施（通年）	①手引きの内容を改善したか、HR等で活用できた。 ②進路ガイダンス2回以上の実施、各種職業検査や進路対策指導が実施できたか。 ③地元事業所と連携しインターンシップの実施、企業見学会へ生徒が参加し理解を深めたか。 ④3年生がPTAや就職支援員等と面接や指導を受けて進路が決定したか。（3年生試験前1人5回の模擬面接）	学年を中心とした年間計画に沿った進路対策・指導を行い進路実現に繋げることができた。 ①プリント等も活用し、履歴書の入力等、適切に活用した。 ②ガイダンス、検査等全て予定通り実施することができた。 ③2年生全員が実施（7月）し、各自インターンシップ内容について発表。企業見学会へ参加。 ④就職支援員、PTA役員等の協力により全員実施。希望者進路先100％を決定した。	A

学 校 関 係 者 評 価
実施日 令和7年2月19日
学校関係者からの意見・要望・評価等
○やる気を引き出す授業の実践や研究、人数が少ない今しかできないことを考え出す等のマインドが素晴らしい。これは、皆野高校だからできることである。どうやったら生徒や先生が良くなるかを考えているのが伝わってくる。そのマインドを生徒も先生も持っているのが素晴らしい。 ○先生方のきめ細やかな指導が効いている。先生方の寄り添う姿勢がありがたい。生徒の学習意欲に繋がっている。今後も生徒のバックアップを続けてもらいたい。 ○日頃より生徒一人ひとりに寄り添い丁寧なご指導をありがとうございます。安心できる環境の中で先生方が研修や協議を重ね、生徒達も基礎学力の向上や社会への対応力が育まれたかと思います。来年度は生徒数・教員数ともに減となりますが可能な限り状況を変えことなくご指導のほどよろしく願います。
○亀沢屋との連携により開発した商品みそぼてサブレも販売実習として販売したが、生徒が販売を行うと完売している。今年度の新商品しかコロぼんも食べてみたいし、今後も頑張ってください。 ○多方面で皆野高校の名前が取り上げられていること、校長先生はじめ先生方の努力の賜物である。皆野高校という校名はなくなってしまうが、注目されているということは期待されている証拠である。多くの経営者も視線を送っている。来年度も引き続き、生徒が活躍できるように教員・地域がバックアップすることができれば、地域の産業に影響を与えることができる。残りの時間でも、沢山できることがある。 ○今回の報告にはなかった「できなかったこと、失敗したこと」は沢山あると思う。ぜひそれも聞かせていただきたい。その面を我々はサポートしていきたい。 ○皆高生は他校の生徒さんに比べ多くの大人達の中で頑張っています。この関わりは社会へ出て、必ず役立つと思います。
○来年度1学年になってしまう。クリーンキャンペーンなど実施できる方法を考えたい。来年度、文化祭以外にも生徒会行事を考えていればPTAとしてもサポートしたい。 ○今年は地域の方に協力してもらった。今年度より、来年度。どうやったらもっと盛り上げられるのかを生徒には考えてほしい。 ○生徒会は3年生が卒業して、人数も減り活気がなくなってしまうことを懸念している。しかし、人数が少ないからこそできる文化祭にして盛り上がっていきたい。 ○地域の人たちに交通安全運動や青少年健全育成キャンペーンを引き継いでいきたい。皆野中学校の先生も見学に来ていただいた。皆野中学校などと連携し継ぎを行うことができると理想的である。
○就職希望者が全員2学期中に進路が決まったことが大変素晴らしい。 ○保護者の方々に、もっと早く進路について考える機会・仕掛けをいただけるとありがたい。来年度も面接練習の協力をします。 ○「進路指導を早めに」という話が出たが、夏休みの面接練習会をもっと早く行うのはどうか。教員以外の大人たちと面接練習をすることで、生徒はより本気になる。来年はもう少し早くから面接練習を行うのも悪くないのではないかな。 ○近年、各企業内定や就職活動を前倒しに行う傾向にあるため、早め早めの準備が望ましい。